

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
**英語・コミュニケーション関係学グループ**  
**分野連携アクティブ・ラーニング対話集会**  
**開催要項**

## 1. 開催の目的

教育の質的転換に求められる最大の課題として、教員による一方向的な授業から学生の主体性を引き出し、伸ばす授業に如何に換えることができるかが問われています。これまでの知識伝達型授業だけでは限界があり、自ら問題を発見し、解を見出し実践できる力を育む能動的学修（アクティブ・ラーニング）への転換が不可欠です。能動的学修は学生の主体性を前提としますので、本気で学びに立ち向かう「気づき」を働きかける組織的な教育プログラムの構築が望まれます。

今回は、これまでの対話集会での議論や個々の大学での経験を踏まえ、成功・失敗の要因と改善対策を整理するとともに、分野の壁を越えて知識を組み合わせる創造型教育の必要性、学位プログラムを実現していく上で避けて通れない授業科目の調整・統合、教員の意識改革などの本質的な課題について理解の促進を図るとともに、アクティブ・ラーニングの授業方法と評価、授業環境と授業支援組織、教員の教育指導能力の開発、教学マネジメントの在り方などについて多くの教員の方々と理解を共有するとともに多面的に研究を進めたいと考えております。

## 2. 対話集会のねらい

対話を通じて課題を発見し、課題解決に向けた学びを主体的・協働的・創造的に展開していくアクティブ・ラーニングの手法とそれを実現していくための授業運営の工夫と組織的に推進していくため教学マネジメントの工夫について理解を共有します。

## 3. プログラム

### (1) 開催趣旨の説明

### (2) 知識の創造を目指した発想型のアクティブ・ラーニングの話題提供

- ① 「内容言語統合型授業（CLIL）による専門教科と語学を結び付けた教育」の取り組み  
吉田 研作 氏 上智大学 言語教育研究センター
- ② 「グローバルネットワークで共修学習を行う異文化交流授業(COIL)」の取り組み  
山本 英一 氏 関西大学 外国語学部
- ③ 「ICTを用いて多様な価値観の共有を醸成する学びの仕組み」の提案  
松村 豊子 氏 江戸川大学 デジタルコミュニケーション学部

### (3) 意見交換

知識の定着・確認、知識の活用・創造に効果的なアクティブ・ラーニングの在り方及び組織的に推進していくための教学マネジメントの工夫について、下記のテーマで意見交換を行います。

#### 【アクティブ・ラーニングに関するテーマ】

- ・知識の定着・確認を目指したアクティブ・ラーニング効果の振り返り
- ・知識の活用・創造を目指したアクティブ・ラーニング
- ・知識の活用・創造を学修する評価方法（ルーブリック・ピア評価・第三者評価など）

#### 【教学マネジメントに関するテーマ】

- ・教員間・地域社会・有識者との連携に伴う課題
- ・教員間の連携を促進するための授業の可視化と公開

### (4) 課題整理とまとめ

## 4. 参加対象者：国・公・私立大学の教員及び教育支援に関係する職員

## 5. 開催日時：平成28年12月25日（日）13：00～16：00

6. **会場**：早稲田大学 早稲田キャンパス 8号館 3階 303会議室  
 〒169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1  
 案内図 [http://www.waseda.jp/student/koho/campusmap\\_2016.pdf](http://www.waseda.jp/student/koho/campusmap_2016.pdf)

7. **定員**：90名（先着順で受け付けます）

8. **参加費**：無料

### 9. 参加にあたって

本協会のビデオ・オンデマンド配信事業（有料）は利用申し込みが必要です。大学で利用申し込みされているかご確認下さい。なお、参加されていない大学は参加いただくか、下記の講演資料をご一読下さい。

ビデオ・オンデマンド配信事業のご案内 <http://www.juce.jp/ondemand/>

大学での利用申込確認・視聴方法について <http://www.juce.jp/senmon/ondemand/>

(1) 主体性を引き出すための初年次教育について、事前に本協会ビデオ・オンデマンド配信事業の「主体性を育む授業とは」安西祐一郎氏の映像資料を事前にご覧願います。

① 安西氏の講演資料	<a href="http://www.juce.jp/ondemand/">http://www.juce.jp/ondemand/</a>
② 産学連携 PBL 実践報告の関連資料 <small>(バネ社教育総合研究所)</small>	<a href="http://www.juce.jp/senmon/active/">http://www.juce.jp/senmon/active/</a>

(2) アクティブ・ラーニングと教学マネジメントへの取組みについて理解を共有するため、併せて以下の映像及び資料を事前にご覧願います。

① 本協会の機関誌「アクティブ・ラーニングとはなにか」 (長崎大学：山地弘起氏)	<a href="http://www.juce.jp/senmon/active/">http://www.juce.jp/senmon/active/</a>
② 本協会の機関誌「反転授業を組み合わせたアクティブ・ラーニングの取り組み」(山梨大学：森澤正之氏)	
③ オンデマンド配信 (平成 27 年度) ※ 「反転授業導入の必要性と普及・推進に向けての対応策」、他 (山梨大学：森澤正之氏) ※ 「アクティブ・ラーニングの体系化と教員の教育力養成、学修プロセス・成果の可視化を目指した改革戦略」 (玉川大学：稲葉興己氏) ※ 「横浜国立大学における教学マネジメント体制構築の試みについて」 (横浜国立大学：梅澤修氏)	<a href="http://www.juce.jp/ondemand/">http://www.juce.jp/ondemand/</a>

### 10. 資料について

当日は資料の配布はいたしませんので、必要な資料は各自印刷の上ご持参ください。

なお、話題提供の資料は開催の3日前を目途に以下の URL に掲載します。

<http://www.juce.jp/senmon/active/>

### 11. その他

話題提供と意見交換の様子（意見交換は背面からの遠景）を個人情報に配慮して収録し、映像は編集後に加盟校に限定してネット上で動画配信します。

また、意見交換による課題の整理は文章で本協会 Web サイトに掲載する予定にしております。

### 12. 参加申込について

参加される方は、別紙の申込書に記入の上、FAX またはメールにて 12 月 20 日（火）までにお申し込み下さい。

